

D-38 **ロバストサポートベクターマシンの拡張に対する DC アルゴリズムの適用**

藤原秀平, 武田朗子 (東京大学), 金森敬文 (名古屋大学)

	Standard	ν の範囲を拡張 (非凸な拡張)
Standard	C-SVM [Cortes & Vapnik, 1995] ν -SVM [Scholköpfung et al., 2000]	E ν -SVM [Perez-Cruz et al., 2003]
ロバスト化 (非凸な損失)	Ramp-Loss SVM [Collobert et al., 2006] Robust Outlier Detection [Xu et al., 2006]	✓

貢献

- ▶ 2 種類の非凸な拡張を合わせた新しいモデルの提案
 - ▶ 両者の長所を併せ持つ (外れ値に対する頑健性, etc...)
- ▶ 提案モデルに対して DC アルゴリズム [Tao, 1988] を適用
 - ▶ 拡張してもアルゴリズムの計算コストはあまり変わらない